

「5 突然 風水害が起こったら」

- 学習のねらい： 1. 突然の風水害によって引き起こされる災害の危険について理解できる。
 2. 危険があった時に、安全に避難する方法を理解できる。
 3. 気象情報を把握する等普段から心掛けることを認識できる。

(指導上のポイント)

◆竜巻、急な大雨、雷から身を守る方法について指導する。

【竜巻の場合】

(家の中にいる場合)

- ・窓から離れて、丈夫な机の下に入り、両手で頭を守る。

(屋外にいる場合)

- ・丈夫な建物の中に避難する。

【急な大雨】

- ・雨が降り始めたり、空や川に異変を感じたりしたらすぐに離れる。
- ・浸水した場所に注意する。

【雷の場合】

- ・雷鳴が聞こえたらすぐ避難する。
- ・建物や車の中へ避難する。
- ・木や電柱から4 m以上離れる。

◆レーダー・ナウキャスト（気象庁）で竜巻、急な大雨、雷の発生確率が予測されているので、外出時等に確認することを指導する。

<http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>

5 突然 風水害が起こったら

(1) 竜巻、急な大雨、雷から身を守るには

いつでもどこでも突然に発生する風水害に襲われる可能性があります。竜巻、急な大雨、雷が発生した場合、考えられる危険、身の守り方について書きましょう。

災害名	場所	考えられる危険	身の守り方
竜巻	自宅の居間	窓ガラスが割れる。	窓カーテンを閉め、丈夫な机の下に入り頭を守る。
竜巻	学校のグラウンド	サッカーゴールが倒れる。	体育館に避難する。
急な大雨	側溝や用水路等がある道路	側溝や用水路等との境が分からなくなり転落する。	長い棒を杖代わりにして足下の安全を確認しながら進む。
急な大雨	アンダーパス (立体交差で、鉄道や道路の下を通る掘り下げ式の地下道)	浸水で溺れる。	通行しない。
雷	学校のグラウンド	グラウンドにいる人に落雷	教室へ避難する。
雷	公園	公園にある木に落雷	木から離れ早く屋内に避難する。



11

【コラム：急な気温の変化は何かが起こる前の予兆と心にとどめる】

群馬県館林市の竜巻（H21年7月）

竜巻の起こった日は昼過ぎにぽつぽつと雨が降り出し、少ししてから強い風が吹き始めたのを覚えています。今思い起こしても、何の前触れもない夏の日の午後だったと思います。ただ思い返せば、竜巻の発生した日、あの日の朝の天気予報では「突風注意」と表示されていました。しかし、上州は「からっ風」でも有名なところで、だれもが「風」には慣れっこになっている。そのせいか、だれもが大して気にもとめなかったのだと思います。竜巻の発生前には、真夏であっても急に気温が下がり、涼しさと空気が止まったような静けさを感じたのを覚えています。あれが前触れだったといえるのでしょうか。あの朝、前橋気象台が出した情報にもう少し注意していれば被害を軽減できたかもしれない。これも結果論ですが、自然災害の脅威に私たちはもう少し敏感でなければならぬと思います。

(館林市 50代男性)

内閣府「一日前プロジェクト」より